

# 精華町教育委員会会議録

平成27年（第1回）

- 1 開 会 平成27年1月28日(水) 午前10時00分  
閉 会 平成27年1月28日(水) 午後12時10分

- 2 出席委員 伊藤委員長 中谷委員 蓑毛委員 細川委員  
太田教育長 (欠席委員なし)

3 出席事務局職員

木原教育部長 竹島学校教育課長  
村川生涯学習課長 北澤総括指導主事  
山崎学校教育課主査

- 4 傍聴者 なし

5 議事の概要

(1) 開会

委員長から第1回教育委員会の開会を宣言。

(2) 前回会議録について

教育部長から平成26年第12回教育委員会の会議録について説明。

【意見等】

- ・特になし。

【採 決】

- ・全員承認。

(3) 教育長報告事項

1点目は町長の年頭挨拶について、例年、町長から教育問題については直接触れられることはなかったが、今回は地方教育行政制度の改革の施行を見据え、教育問題についても具体的な内容について言及されていた。まず、本年は「町制60周年の節目」と言う話題のなかで「精華中学校を、共に支えた旧川西村と山田荘村の枠組みでできた、わがまち精華町」と、精華中学が現在の精華町の枠組みになっているという認識が

改めて説明されたということ、また、「子育てと教育の転機を迎える」と言う話題の中では、各種の先駆的な教育実践、あるいは不登校発生率の低さなどを見ても、本町の教育委員会は本当によく頑張っているとの評価をいただいた。一方、児童虐待、育児放棄、最近、クローズアップされてきた相対的貧困問題の顕在化など、全国的にも子どもたちが置かれている深刻な状況は精華町でも無縁ではなく、家庭が抱え切れない問題、学校だけでは解決できない問題も大きくなってきていることから、町全体の課題としてとらえ、総がかりでの取り組みを追求していかなくてはならないと、ここまで言及されており、児童生徒に対する町長の受けとめ方が反映された挨拶であったのではないかと感じた。

次に、教育委員会制度改革について、新制度への移行に伴い、さまざまな条例・規則等の改正が必要となってくるが、現在、その内容について検討作業を進めている。次回、2月の教育委員会協議会で報告させていただき、内容の共通理解を深めたいと考えている。

委員会制度改革に関連し、京都府教育委員会では現在、教育委員の定数について検討中で、教育委員6名（教育長を含む）を、教育長1人、教育委員5人とし、全体の人員は変更しない方向で調整されているところである。また、教育長の給与や教育長の任期についても検討過程にあるとのこと。次に、新聞報道でもあったが京都市教育委員会の対応について、藤原教育委員長が平成26年12月24日付で退任され、その後の補充人事がされず、現行制度の3月末で生田教育長も退任し、4月1日から新制度のもと再任か新任かは別として新たな教育長が任命されるとのことである。また、府内の市町（連合）教育委員会については、経過措置をとる団体が多いのではないかとと思われる。

3点目は、京都府市町村教育委員会連合会の組織について、2月5日に幹事会が開かれ、役員や組織の問題について議論される予定となっている。全国的な状況を見ると、全国の市町村教育委員会連合会では、現教育長の任期中は現行の委員会制度を継続させる経過措置を適用するところが多いと言われており、このような状況を踏まえ、議論していきたいと考えている。

#### 【委員の意見】

- ・町長年頭の挨拶で教育の面にあたりこれだけ詳しく触れられているの

は、4月からの教育委員会制度改革を踏まえての理由からだと思う。本委員会も新制度移行にあたり、一定の区切りのようなものが必要ではないか。（伊藤委員長）

#### 【事務局】

・議会を通じ、このことは議論になると考えている。新しい制度や経過措置期間は現体制で臨むが、例えば広報誌などを利用し、住民向けへの周知は必要と感じている。（太田教育長）

### （4）諸報告

#### ア 教育部長

1. 精華町一般会計基金状況について
2. 平成27年度予算案策定にかかる本町の状況について  
主な大型事業（概算）
  - ・精華中学校改築工事 11.3億円
  - ・精華町消防庁舎建替事業 4.5億円
  - ・新クリーンセンター建設負担金 9.8億円
3. 町立小・中学校児童生徒の不登校状況  
12月定例会議の報告人数から横ばい、減少の傾向
4. 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴う、例規の整備について
  - ①条例、規則、要綱など、現時点で例規整備が必要な本数は25本。  
うち、8本が教育長の給与や服務に関する例規改正、そのほか、教育委員長廃止や、引用法令の改正に伴う条ズレなどの改正。

#### イ 学校教育課長

1. インフルエンザ状況発生に伴う学級閉鎖について
  - 1月23日 山田荘小学校 1年1組
  - 〃 精華南中学校 2学年
  - 26日 川西小学校 2年3組
2. 食中毒注意報について  
ノロウイルス等による感染性胃腸炎の流行に伴い、1月26日から30日まで府内全域に注意報が発令。
3. けいはんな科学体験フェスティバル2015について

日時：平成27年2月7日（土） 午前10時から

場所：けいはんなプラザイベントホール

内容：工作教室・理科実験・科学映画上映

4. 第2回精華フレンドシップコンサートについて

日時：平成27年3月21日（土） 午後1時30分から

場所：東光小学校

内容：東光小学校ウインドアンサンブル、精華中学校・精華西中学校吹奏楽部、京都廣学館高等学校、南陽高等学校、精華町少年少女合唱団による演奏や合唱

5. 平成26年度「認知症サポーターキャラバン報告会」について

日時：平成27年1月31日（土） 午後1時から

場所：砂防会館（東京）

内容：東光小学校の「やさしい町づくり・やさしい人づくり」の取り組みが優秀賞を受賞。その優良活動事例の実践報告を行う。

6. 京セラ文庫の開設について

町の立地企業である京セラ(株)が、様々な機会を通じ社会貢献活動を実施されている。昨今、特にインターネット等の普及により、子供たちの読書離れが懸念され、改めて書籍に触れることの大切さを感じていただきたいとの趣旨から、企業立地している地区の学校（東光小学校・精華西中学校）に対し1校あたり50万円相当の本が寄贈された。各校では、これを「京セラ文庫」として開設し、有効に活用していく。

7. 山田荘小学校研究発表会の開催について

日時：平成27年2月6日（金） 午前10時45分から

場所：山田荘小学校

内容：平成24年度から文部科学省の研究指定を受け、「自立し共生する「21世紀型生きる力」を育成する教育課程・指導方法の開発」を研究主題とし、3年間取り組んできた研究成果の発表を行う。午前中は公開授業の実施、午後から文部科学省、大学教授を迎えてのパネルディスカッションや記念講演が行われる予定。

## ウ 総括指導主事

### 1. 「指導の重点・せいか学びと育ちプラン」の作成状況について

今回の改定では、①保幼・小・中の連携について、これまで「せいか学びと育ちプラン」には表記されていたが指導の重点には記載されておらず、昨今の状況からも、更に学びの連続性を重視していくことを追記②文部科学省から配布されている道徳用教材の積極的活用について追記③「体罰根絶の意識をより高め…」の表現を削除。これについて、意見を頂き次回の教育委員会で提案したいと考えている。

#### 【委員の意見】

指導の重点について

- ・体罰根絶の表現については、常に教師が意識しなければならないところで、ぜひ表現として残して頂きたい。（中谷委員・蓑毛委員）
- ・①の保幼・小・中連携を書き出したのは良いことだと思う。いじめ問題の表記に関しては、具体的な表現から抽象的な表現になり、ぼやけた感じがする。（蓑毛委員）
- ・指導の重点では幼稚園、保育所、小学校、中学校と記載しているが、読み方としては、保幼、小、中の方が浸透している。支障なければ順番を変更してはどうか。（伊藤委員長）

#### 【事務局】

- ・記載中の幼稚園、保育所、小学校、中学校の順番は、保幼・小・中の順に変更する。（総括指導主事）
- ・いじめの表記については、授業以外に部活動などにも及ぶため学校生活を包括するような表現とした。（太田教育長）

### 2. 生徒指導の状況について

個々の具体的な事象については、個人情報に関する内容であり、精華町教育委員会会議規則第16条の規定により非公開とすることができるため会議に諮られ、「異議なし」としてこの件については非公開となった。

## エ 生涯学習課長

### 1. 放課後子ども総合プランに係る行動計画（案）について

平成26年7月に文部科学省と厚生労働省で「放課後子ども総合

プラン」が策定され、平成31年度末までに全国全ての小学校区約2万か所のうち、1万か所以上で放課後児童クラブと放課後子供教室を一体的に実施することを目標としている。本町では、このプランに基づく今後の計画を、現在、児童育成課が所管となって策定作業を進めている「精華町児童育成計画 精華町子ども・子育て支援事業計画」と一体のものとして策定し、今後の事業実施に向けた連携を図っていく。

## 2. 精華町子どもの読書環境整備5か年計画（第三次）案について

読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことのできないものという基本的な考え方にに基づき、精華町では平成19年度から「精華町子どもの読書環境整備計画」を策定し取り組みを進めてきた。このたび平成26年度で第二次計画が終了することに伴い、現在、第三次計画の策定作業を進めている。今後、文言的な修正も加えながらパブリックコメントを実施し、3月中に計画を策定する予定。

## 3. 精華町文化財愛護会 公開講演会の開催について

～「平家物語」と南山城・高野山～

日時：平成27年1月31日（土） 午後1時30分から

場所：精華町交流ホール

内容：平家物語を通し南山城・高野山に関する印象的なエピソードを取り上げ、分かりやすく解説

## 4. 「家族のきずな」作文発表会について

日時：平成27年2月14日（土） 午後1時30分から

場所：むくのきセンター

内容：綴喜・相楽地域の公立小学校の5年生を対象に、家族への思いや、きずなに関する作文を募集。入賞者への表彰と朗読発表が行われる。

## 5. 第22回相楽「少年の主張」大会について

日時：平成27年2月15日（日） 午後1時30分から

場所：地域福祉センター かしのき苑

内容：相楽郡と木津川市内に住む小・中学生が日常生活の中で

考えていることや感じていることを発表、主張する大会

**【委員の意見】**

- ・子ども総合プランに係るものと、子どもの読書環境整備5か年計画について、教育委員として意見や会議の出席などの位置づけはどうなっているのか。（伊藤委員長）
- ・不登校などの関係で、教育委員が学校現場の事情を直接聞いたり、協議会開いて検討するということが少なくなってきたと思うが、個票からみて本町が抱えている面で特徴的なものはあるか。（伊藤委員長）
- ・いじめにしても不登校にしても、家庭がこれだけ学校がやってくれているという気持ちになって頂けるところまで粘らない限り、一步前へ進めないで、諦めず頑張ってもらいたい。（伊藤委員長）

**【事務局】**

- ・いずれの計画も教育委員を会議の構成員とはしていない。計画は教育委員会のご意見を頂き、反映させながら、最終的に承認いただくという形となる。（生涯学習課長）
- ・不登校状況について、各学校が家庭訪問、家庭連絡など対応しているが、保護者の協力を得られないところはなかなか改善に時間を要し、解決が非常に難しい。家庭との連携において課題があると聞いている。（北澤総括指導主事）

オ 後援関係

12月から1月に受け付けた教育委員会後援事業の報告は、総数5件、学校教育課関係は0件、生涯学習課関係が5件、うち社会教育係関係が3件、図書係は0件、体育係関係は2件。

カ 2月の行事予定について

(5) 閉会

委員長が第1回教育委員会の閉会を宣言。